



国語の勉強

先週、二人の生徒が国語の勉強法の相談にやってきた（残念ながら25Rの生徒ではありません）。部活の引退も決まり、とりあえず2年生のうちに、国数英の復習をしておこうということで、その勉強を始めた中で感じた疑問を持ってきたということだろう。

で、一人は、「現代文の文章を読むのが遅く、どうしたら早くなるのか」というお問い合わせ、もう一人は「漢文がまったくできないが、今からどうしたらよいのか」というお問い合わせだった。似たような課題を抱えている人は25Rにもいそうなので、どんなお答えをしたのか書いてみよう。

まずお一人目だが、例えばセンター試験などは時間との闘いになるので、イイ点を取りたいと思うようになると、その時間の足りなさに困ってしまうというのが根本だろう。しかし、この「早く読めるようになるには？」という問いに対しては、実はイイ答えはない。人は自分のペースでしか文章は読めないから、ペースを崩すようなアドバイスをすると、かえってよくない結果になってしまうし、かといって、根本的にそのペース（読むスピード）をアップさせる方法があるのかといえば、「読解力をつけること」としか言いようがないからである。ちなみに、読解力がつくと、スピードは自然にアップする。それは確かである。だから、迂遠なようでも、日常の授業をしっかりと受け、漢字の力や語彙の力を蓄えて、文章に立ち向かう読解力を日々付けていこうとしかアドバイスできないのである。

ただ、もう一点、敢えて付け加えれば「根性と気迫」である。試験問題、特にセンター試験の場合は、選択肢の中に必ず正解がある

わけだから、「必ずお前を見つけてやる！」といった根性と気迫で問題に立ち向かえば、つまり、集中力を持って問題に臨めば、実は解けるようになったりするるのである。

というわけで、チャレンセンには「根性と気迫」で臨んでみてほしい。

次に漢文。国語の授業で扱っているし、書き下し文を学習の出発点に据えることが多いので、あまりその意識はないだろうが、漢文も英語と同じ基本外国語である。それ故、ある程度基本が身についたら、次の段階、つまり初見の問題が出来るようになる段階に進むためには、基本文型の暗記が重要になる。

英語では、英作文の基本となる文例を暗記させられているに違いない。英語のreadingとwritingで高得点が取れる人は、それをしっかりと正確に暗記している人なのである。漢文も同じ。基本となる文例を暗記しておく、初見の文章が読みやすくなる。

その文例集が「明説」である。理想は「明説」を暗記することだが、残念ながら他教科との勉強バランスを考えると、今から全部例文を暗記し直しなさいというのはキツイだろう。ということで、やらなければならないのは「明説漢文ノート」である。3～5周くらい、繰り返し演習しよう。そして、あの中で取り上げられている例文は、しっかりと暗記するように努めること。カードをつくり、表に白文を書き、裏に訓点と注意するポイント（句型の名前）などをメモしておいて、繰り返し見ることで暗記するのである。その中で漢字の力がつけば、現代文の力にもなる。コツコツ始めてみてはどうだろう。